

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（平成30年度）に対する自己評価結果

都道府県名： 静岡県

**ア 取組の支援についての自己評価結果**

項目名

3 介護給付の適正化

目標を設定するに至った現状と課題

計画策定時点で、介護給付の適正化に係る主要5事業等のうち「ケアプラン点検」「住宅改修等の点検」「介護給付費通知」「給付実績の活用」については、未実施の市町村があった。そこで、県内全ての市町村で主要5事業等が実施されることを目標とし、特に専門的な知識が必要なため、実施率が低い「ケアプラン点検」及び「給付実績の活用」について、重点的に支援を行うこととした。

取組の実施内容、実績

○ケアプラン点検

市町村へケアプラン点検のアドバイザーを派遣し、介護支援専門員、市町村職員及び主任介護支援専門員に対し適正なケアプラン作成及びケアプラン点検に向けた指導を行った。（県内5市町村に対して各1回実施）

○給付実績の活用

介護給付適正化システムを運用する静岡県国民健康保険団体連合会に委託し、システムから出力される各種帳票のうち、活用しやすく、適正化につながりやすい帳票をピックアップし、具体的な点検方法を説明する研修会を実施した。（県内4会場で実施、全市町村出席）

自己評価

「ケアプラン点検」及び「給付実績の活用」を実施した市町村の数は、計画策定時点と比べて大幅に増加し、特に「ケアプラン点検」は県内全市町村で実施されたことから、県の取組は設定した目標に対して効果があったと考える。

一方で、一部の市町村では「ケアプラン点検」等の実施が、県の支援があったタイミングに限られ、自発的、継続的な実施につながっていない、という課題が見られた。

市町村実施率	要介護認定適正化	ケアプラン点検	住宅改修等点検	介護給付費通知	縦覧点検等	給付実績活用
2016年	100.0%	80.0%	97.1%	91.4%	100.0%	71.4%
2018年	100.0%	100.0%	100.0%	97.1%	100.0%	94.3%

**イ 管内保険者の自己評価結果の概要**

管内市町村の介護給付適正化事業の実施件数等に係る自己評価について、達成できている又は概ね達成できていると回答した市町村が多数を占めた。一方で、職員の専門性の不足や人手不足から、実施内容や実施件数が不十分であるとの課題を挙げる市町村もあった。

**ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策）**

県内全ての市町村で主要5事業等が実施されようとした目標は、達成に向けて大きく進捗している。一方で、給付の適正化という本来の目的に向けた、点検等の精度の上昇や件数の増加については改善の余地がある。

今後は、アドバイザーの派遣や研修を行い市町村職員の専門性の向上を図るとともに、保険者指導や研修の機会等を通じて、給付の適正化が保険者の本来業務であることの意識付けや、外部の専門家を活用した取組事例を紹介することで、給付適正化事業の質を高めていく。

